

梅雨が明け、沖繩の暑い夏が到来しました！子どもたちの大好きな水あそびも始まり、タライに手を入れチャップチャップと水の感触を楽しんだり、お友だちと水をかけ合い楽しんでいます。また、ちゅうりっぷ・ゆり・ひまわり組さんはお散歩に出かけセミ捕りを楽しみ、「セミ捕ってきたよ〜！」と園に持ち帰り、すみれ・たんぽぽ組さんにも見せてくれます♪セミをじっと観察したり、大きな鳴き声にびっぴりしたり、そーっと触ってみたりする姿が見られます。水分補給や休息をしっかり取りながら、夏ならではのあそびを、五感を通して思いきり楽しんでいきたいと思えます。



行事予定

- 8日(日) 山の日
- 9日(月) 振替休日
- 16日(月) 誕生会
- 19日(木) 弁当会
- 22日(日) ウークイ

※避難訓練は某日行います。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、行事の変更、中止があります。



今月のわらい

- ・活動と休息のバランスを取りながら、暑い夏を快適に過ごす。
- ・夏ならではのあそび(水あそび、セミ捕り)を、思いきり楽しむ。



- ♪なつのうた
- ♪うみ
- ♪せみ
- ♪おぼけなんてないさ



- たんぽぽ組 あらかわ るあんさん
- ちゅうりっぷ組 まつだ みりさん

園内研修

7月24日(土)に窒息事故とAEDの使い方について、動画視聴と実践で園内研修を行いました。土曜保育のご協力のおかげで、充実した園内研修を行うことができました。いつもありがとうございます。

○窒息事故から子どもを守る！ (消費者庁)

- ・子どもの口は4cm、喉は1cm以下と、大人に比べ喉の空間が狭い。
- ・子ども、特に3歳児未満の乳幼児は何でも口に入れる時期があるのに、飲み込む力、吐き出す力もまだ育っていないので、窒息しやすい。

窒息がおきた時の様子

- ・苦しそうに咳込む。ゲーゲーと吐こうとする。取り出そうとして口に手を入れる事もある。
- ・声が出ずゼーゼーと音がする。苦しさから何とかしようとする膨らませたり、頭を上下に動かす。
- ・顔色が悪くなり、3〜4分で青紫に変色。5〜6分で呼吸が止まり、意識を失う。

窒息発生時の対処法

- ・すぐに救急車(119)を呼ぶ。
- ・背部叩打法(背中を叩く):片手で体を支え、アゴをしっかり支えて、顔を下に向けてた状態で背中を叩く。(5〜6回を1セット)
- ・胸部突き上げ法(胸部を圧迫する):片手で体を支え手のひらで後頭部を支え、胸を指で押す。(5〜6回を1セット)
- ・背部叩打法と胸部突き上げ法を繰り返す。(体位を変えることで、詰まったものが出やすくなる)

※1歳児以上の幼児には、ハイムリック法も有効。

ハイムリック法:後ろから抱き、片手を握り拳にしてみぞおちの下に当てる。

もう片方の手でその手を握り、両手で腹部を上へ圧迫する。

4cm以下のおもちゃや食品などは、子どもの手が届かない所に置くことが大切！

○幼児安全法 乳児の心肺蘇生とAED (日本赤十字社東京都支部)

- 対処法**
 - ・足裏を叩きながら、名前を呼ぶ。
 - ・助けを呼び、救急車(119)とAEDをお願いする。
 - ・呼吸の確認。無ければ、すぐに心肺蘇生を行う。
 - 心肺蘇生:胸骨圧迫(心臓マッサージ)30回、人工呼吸2回を繰り返す。
 - ・AEDがあれば装着し、指示に従う。(装着中も心肺蘇生は継続する)
- ※小児に対しては小児用パットを使用する。無い場合は大人用を体の前後にパットが重ならないように貼る。小児用電極へ変更するソケットを差し込む。

※胸骨圧迫(心臓マッサージ):乳児は2本の指で、小児は片手で行う。

AEDは生命保持のために行う。心肺蘇生で血液を体に送り続ける事が大切。

窒息への対処、心肺蘇生どちらも、いざという時のために定期的に行う確認する事が大切です。これからも、年に1度は園内研修を行っています。

お知らせ・おねがい

- 今月も引き続き、駐車場での水あそびを楽しんでいきます。
- 暑くなり、虫も多い季節になりました。虫刺されが気になる方は、虫よけスプレーをしてから登園してください。
- ※虫よけのシールやリストラバンドは、誤飲防止のため、園では使用しないで下さい。

- 降園の際、駐車場から園児が出ようとする姿が見られました。大通りのすぐそばで、車の往来が激しいので、駐車場と園の行き来だけでなく、車に乗るまでは子どもたちとしっかり手を繋いでください。

園では、駐車場での水あそびの際、子どもたちと『駐車場から飛び出すと、危ないので駐車場からは出ない』と約束をしています。ご家庭でも、安全面の約束をお話してくださいね。
 ※水あそびの際は、ネットを張り安全を確保して楽しんでいきます。

